

①
フィルム

聖徒たちと歩む聖書 ~15~
アブラハム その7

「神の御子の犠牲の上に」

創世記22章 イサクの奉獻

【今日のアウトライン】

- 0. ふりかえり
- I. 神の呼びかけ
- II. イサクの奉獻
- III. 神の介入
- IV. アブラハム契約の確認
- V. まとめと適用

神が備えられた真実の犠牲
主イエスを信頼して歩もう





【創世記1～11章までに明らかになったこと】

①人類は、たった一つの約束も守れなかった。



②人類は、**良心**によって、世界を正しく治めることはできなかった。



③人類は、**組織**によっても、世界を正しく治められなかった。

人間は、自分の努力で、神との平和を作り出すことはできない!!
人類の希望は、神が約束された女の子孫、メシアにある!!

神の計画が、いよいよ、アブラハムから動き出す!!

【アブラハム契約とは】

■ 聖書全体を貫く大原則

神が一方向的に結んだ無条件契約が、世界を導く。

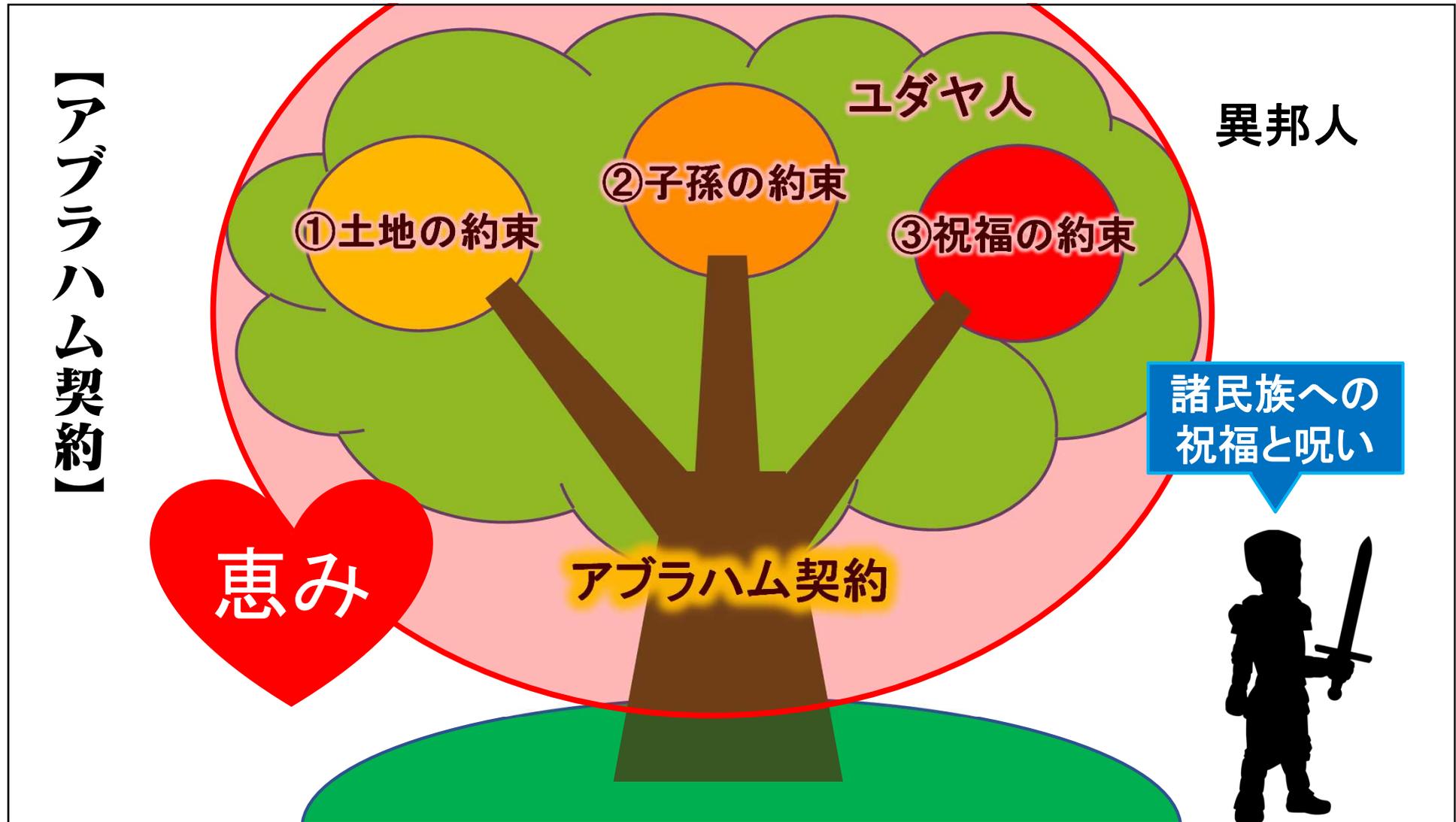
【三つの主な条項】

- ① 子孫の約束 ... 数えられないほど子孫を増やす。
- ② 土地の約束 ... ナイル支流からユーフラテスまで。
- ③ 祝福の約束 ... 子孫からメシアが誕生する。

※付帯条項 ... 祝福と呪い。イスラエルの生存保証。(創12:3のみ)
例) エジプトでの出来事。ロトの奪還。

※しるし ... 割礼





【アブラハムの試練と祝福】

■ 神の選びの民には、試練がある!!

エジプトでの400年の奴隷生活。(創15:13～16)

⇒カナン人の悔い改めの猶予期間。

■ 選びの民には、使命がある!!

【主】の道を守らせ、正義と公正を行う。(創18:19)

■ ソドムのために、とりなし祈ったアブラハム。

神と全民族の仲介者、祭司として。(創18:22～33)

アブラハムの子孫に、真の大祭司イエスが誕生!!

【アブラハムの過ちと試練と祝福】 ...前回から

■ゲラルでの妻サラの危機

再び犯した罪。続けてきた習慣的罪の悔い改め。

■約束の子イサクがついに誕生

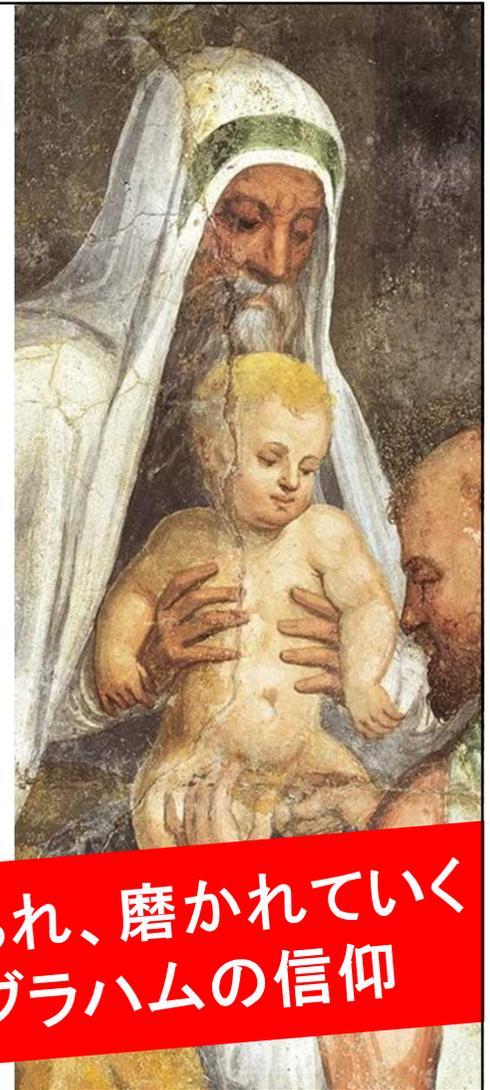
アブラハムとサラにもたらされた笑い、喜び。

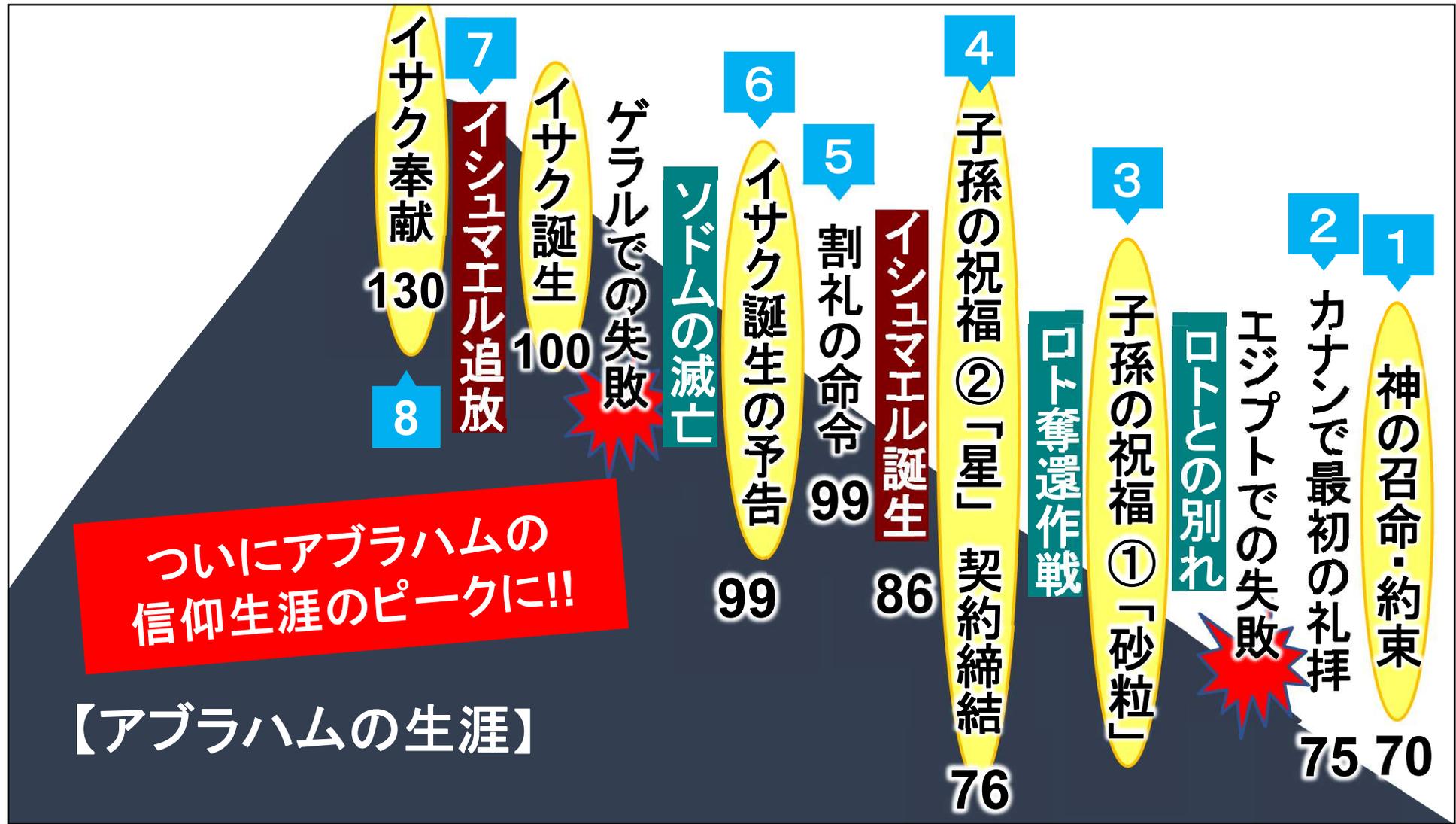
■イシュマエルとの別れ

愛する息子との別離。人間的思いを越えて。

■アビメレクとの和解・平和の訪れ

整えられ、磨かれていく
アブラハムの信仰





【今日のポイント】

■ おもな出来事:

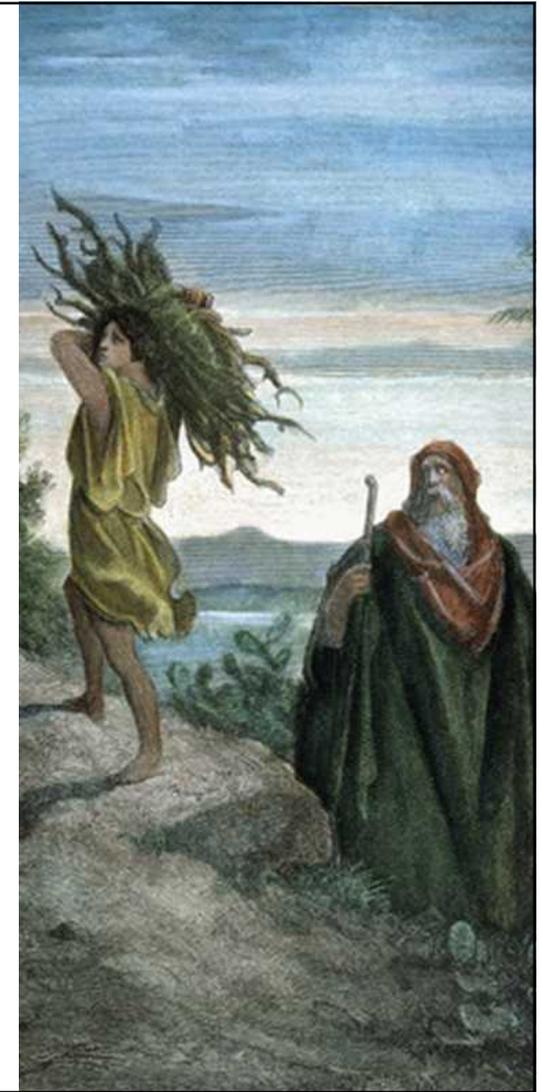
アブラハムが愛するひとり子イサクを神に捧げた。

■ 三つの頂点

- ①アブラハムの生涯の、信仰の到達点。
- ②旧約時代の聖徒たちの信仰の極み。
- ③旧約聖書における、メシアの型の究極のもの。

■ メッセンジャーとしては？

...正直、今の自分には手の負えない箇所。
イサクの視点から見ていきたい。





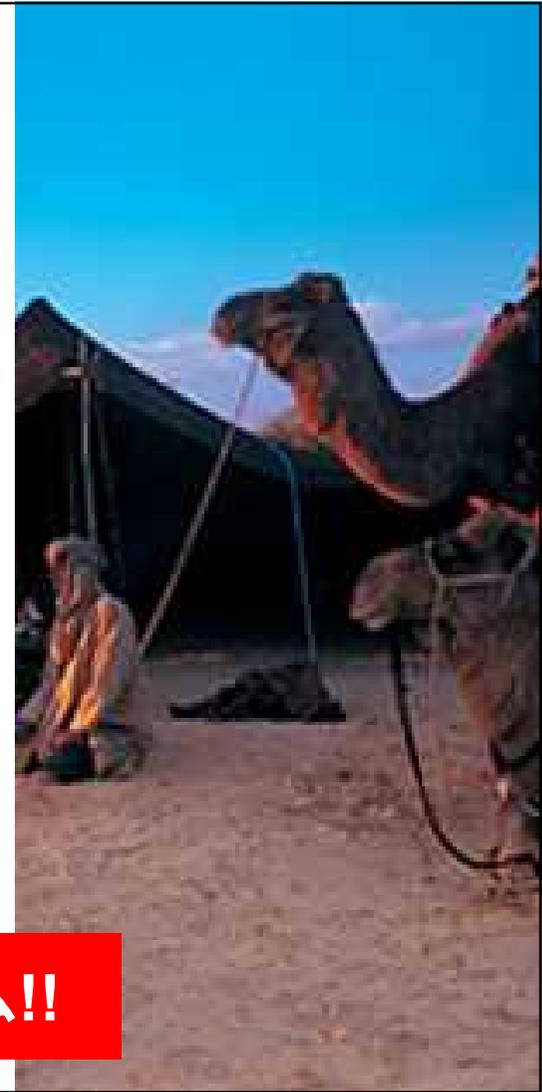
【最大の試練の始まり】創22:1

これらの出来事*の後、神はアブラハムを試練に
会わせられた。

* 直近で言うと、
イサクの誕生、イシュマエルとの別れ、
アビメレクとの和平から、30年ほど後。

■ アブラハム最大の試練が間近だと考えるなら、
これまでの出来事すべてを思い起こさせられる。

いよいよ人生最大の試練に向かうアブラハム!!



【アブラハムの返答】創22:1

神は彼に、「アブラハムよ」と呼びかけられると、彼は、「はい。ここにあります*」と答えた。

*ヒネイニ ...ここです、と強調する言葉。

■22章でアブラハムの返事はこの言葉だけ

...もう一カ所が、22章11節。



【主の最後の命令】創22:2

神は仰せられた*。「あなたの子、あなたの愛しているひとり子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。そしてわたしがあなたに示す一つの山の上で、全焼のいけにえとしてイサクをわたしにささげなさい。」

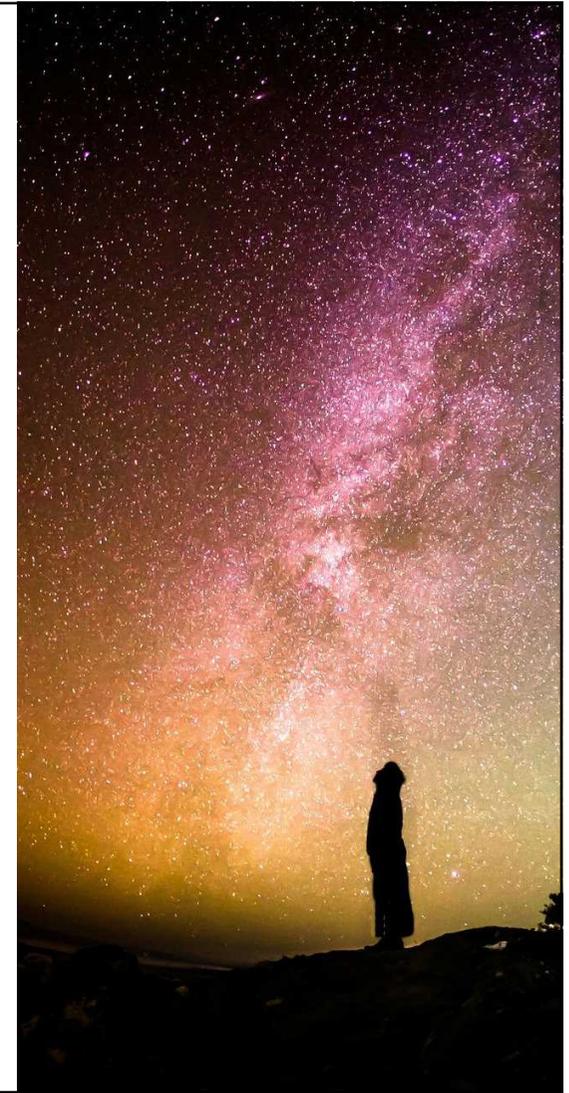
■ アブラハムへの直接の神の語りかけは、生涯で10回。その8回目が、この言葉。

最後のやりとりが、この出来事!!

* 「神はアブラハムを試みて言われた。(口語訳)」

* モリヤの地 ⇒現在のエルサレム

* 一つの山 ⇒現在の神殿の丘



【ヘブル語聖書での呼びかけの順番は？】

①あなたの息子

⇒二人の息子がいるが？

②ひとり子

⇒それぞれ母親にとってはひとり子だが？

③あなたの愛している子

⇒どちらの子も愛しているが？

④イサクを

⇒イサクをどうしろと？

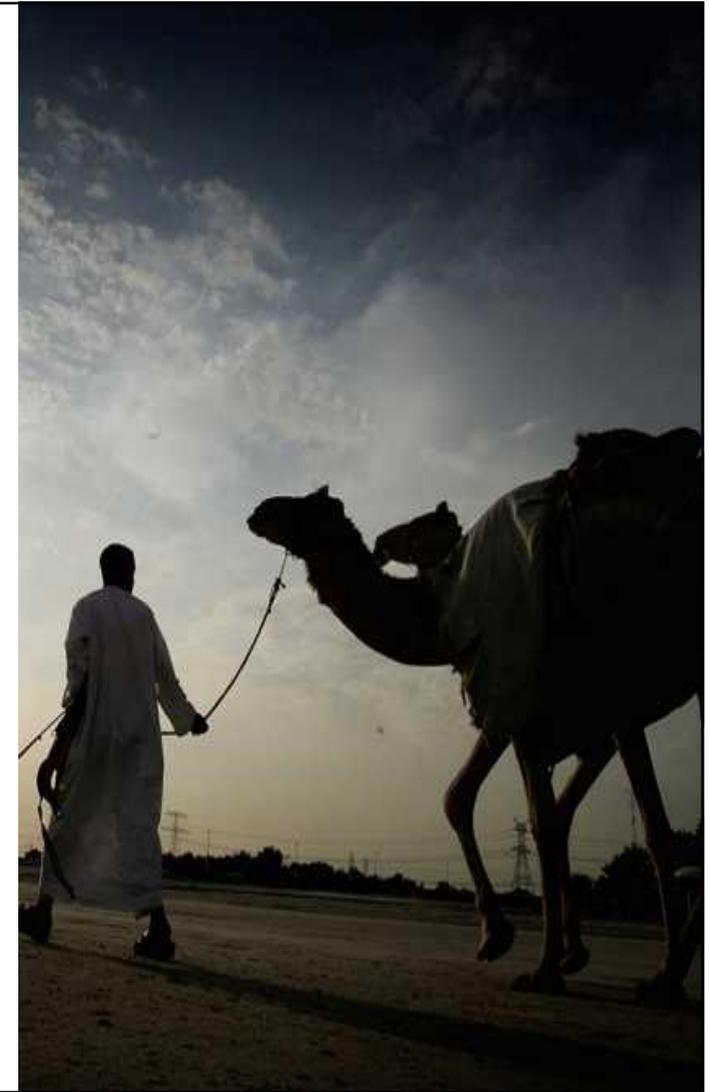
⑤行きなさい(レフレハ)、モリヤの山に

⇒そこで、何が私のためになると？

⑥ささげなさい

⇒いったいどうやって？

⑦全焼のいけにえとして



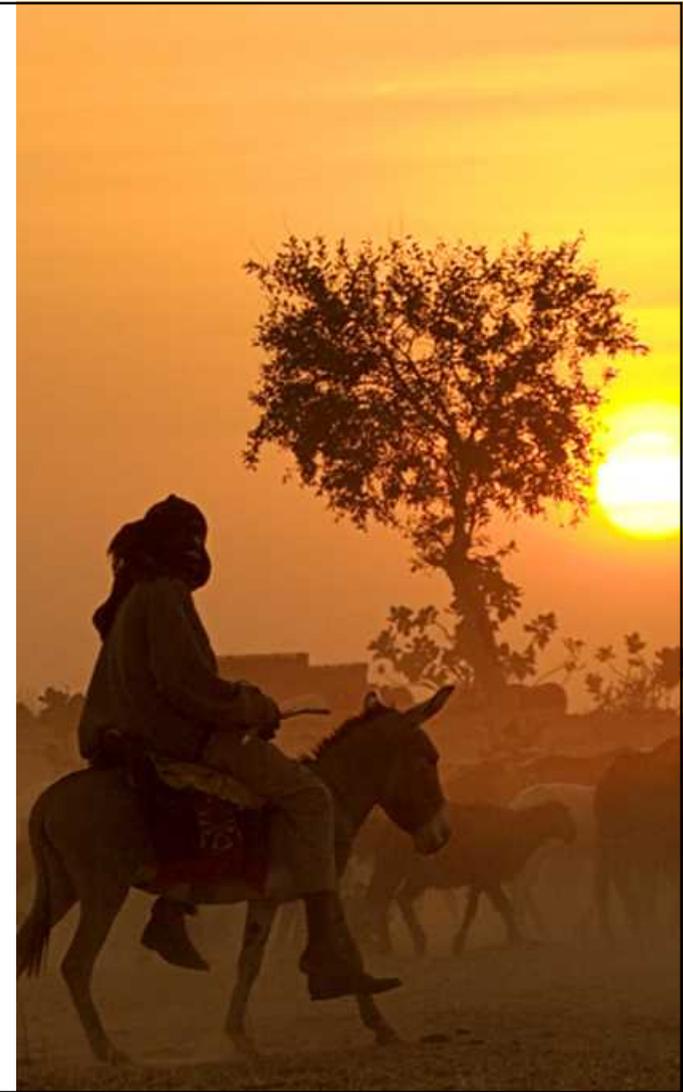
【出立するアブラハム】創 22:3

翌朝早く、アブラハムはろばに鞍をつけ、ふたりの若い者と息子イサクとをいっしょに連れて行った。彼は全焼のいけにえのためのたきぎ*を割った。こうして彼は、神がお告げになった場所へ出かけて行った。

* 相当な量のたきぎが必要!!

⇒野火の場合、400kgは必要

- ロバにつめるのは、MAX100kくらい。
- 乾燥した薪を発火用に持っていった？
足りないものは現地調達するしかない。





Ⅱ. イサクの奉獻

創世記22:4~10

【近づくモリヤ】 創22:4

三日目に*、アブラハムが目を上げると、その場所
がはるかかなたに見えた。

22:5 それでアブラハムは若い者たちに、「あなた
がたは、ろばといっしょに、ここに残っていなさい。
私と子どもとはあそこに行き、礼拝をして、あなた
がたのところに戻って来る」と言った。

* 南部の荒野からは、およそ100kmの道のり。

* ここから先は、本当の信仰が試される道。

* イサクと共に戻ると信じていたアブラハム!!

■ イサクから子孫が増え広がると神が約束された。

イサクは、死んでも復活すると信じていた!!



【山を登る二人】 創22:6

アブラハムは全焼のいけにえのためのたきぎを取り、それをその子イサクに負わせ*、火と刀とを自分の手に取り、ふたりはいっしょに進んで行った。

22:7 イサクは父アブラハムに話しかけて言った。「お父さん。」すると彼は、「何だ。イサク」と答えた。イサクは尋ねた。「火とたきぎはありますが、全焼のいけにえのための羊は、どこにあるのですか。*」

* 伝承によれば、イサク30歳。頑強な青年。

* アブラハムの並々ならぬ決意と思いを
イサクは、感じ取っていただろう...



【イサクを屠るアブラハム】創22:8

アブラハムは答えた。「イサク。神ご自身が全焼のいけにえの羊を備えてくださるのだ。」
こうしてふたりはいっしょに歩き続けた。

ふたりは神がアブラハムに告げられた場所に着き、アブラハムはその所に祭壇を築いた。
そうしてたきぎを並べ、自分の子イサクを縛り、祭壇の上のたきぎの上に置いた。

アブラハムは手を伸ばし、刀を取って自分の子をほふろうとした。



【イサクの行いに見る信仰】

- ヒネイニと答えたアブラハムにつき従ってきた。
- 犠牲の動物のことをそれ以上たずねることなく、薪を背負って、だまって歩き続けた。
- 自らを焼くための薪を負って、山を登り、さらに、周囲からも大量の薪を集め、大量の薪を積み上げた。
- 老いた父アブラハムのなすままに、縛られ、自ら薪の上に身を横たえ、
- 自分の命も、思いも、すべてを主に委ねた。

そしてアブラハムは、刀を振り上げた



Ⅲ. 神の介入

創世記22:11~14



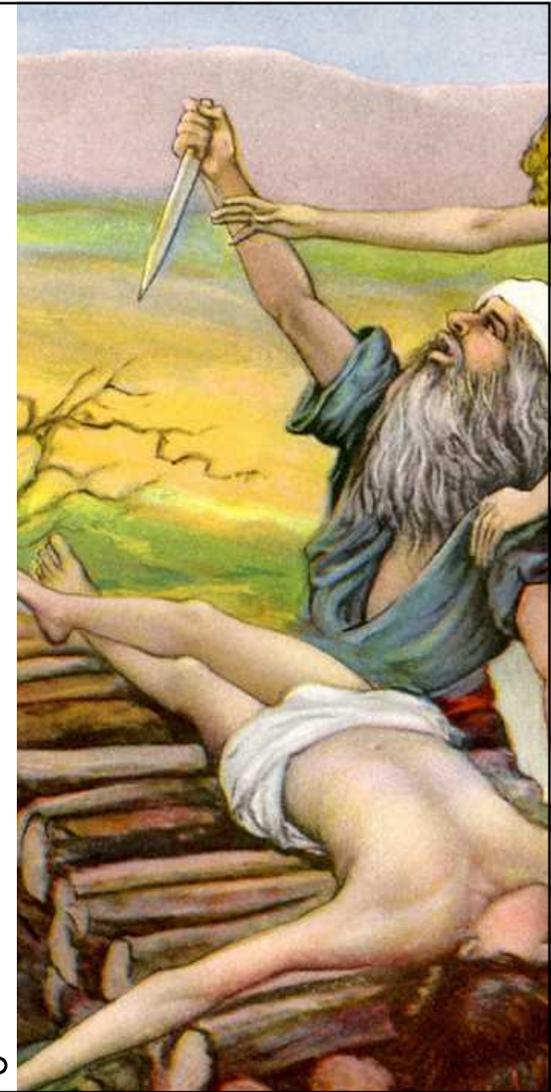
【神の呼びかけ】 創22:11

そのとき、【主】の使い*が天から彼を呼び、
「アブラハム。アブラハム*」と仰せられた。
彼は答えた。「はい。ここにおります。*」

* 主の使い ...受肉前のキリスト

* 二度の呼びかけは、強調。
...神の深い愛情、憐れみ、いつくしみ。

* ヒネイニ ...神の声に常に心を澄まし、神に
即答する信仰が、その手を止めた。



【主の語りかけ】創22:12

御使いは仰せられた。「あなたの手を、その子に下してはならない。その子に何もしてはならない。今、わたしは、あなたが神を恐れることがよくわかった。*あなたは、自分の子、自分のひとり子さえ惜しまないでわたしにささげた。」

* アブラハムの行いにより、神が確認されたこと
“アブラハムは、真に神を恐れる者である”

「【主】を恐れることは知識の初め。

愚か者は知恵と訓戒を蔑む。箴 1:7 」

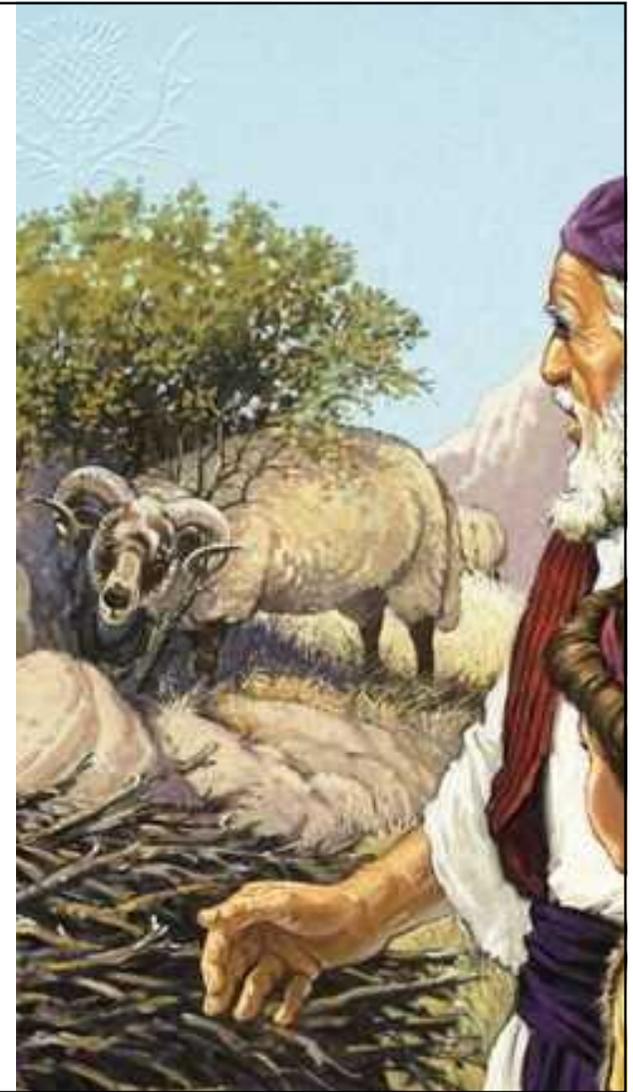
全知全能の愛と義の神を恐れよ、と。



【備えられた雄羊】創 22:13

アブラハムが目を上げて見ると、見よ、角をやぶにひっかけている一頭の雄羊がいた。アブラハムは行って、その雄羊を取り、それを自分の子の代わりに、全焼のいけにえとしてささげた。22:14 そうしてアブラハムは、その場所を、アドナイ(ヤハウエ)・イルエと名づけた。今日でも、「【主】の山の上には備えがある*」と言い伝えられている。

■ 私たちの真実の罪の贖いのために
神が備えられていた方とは？





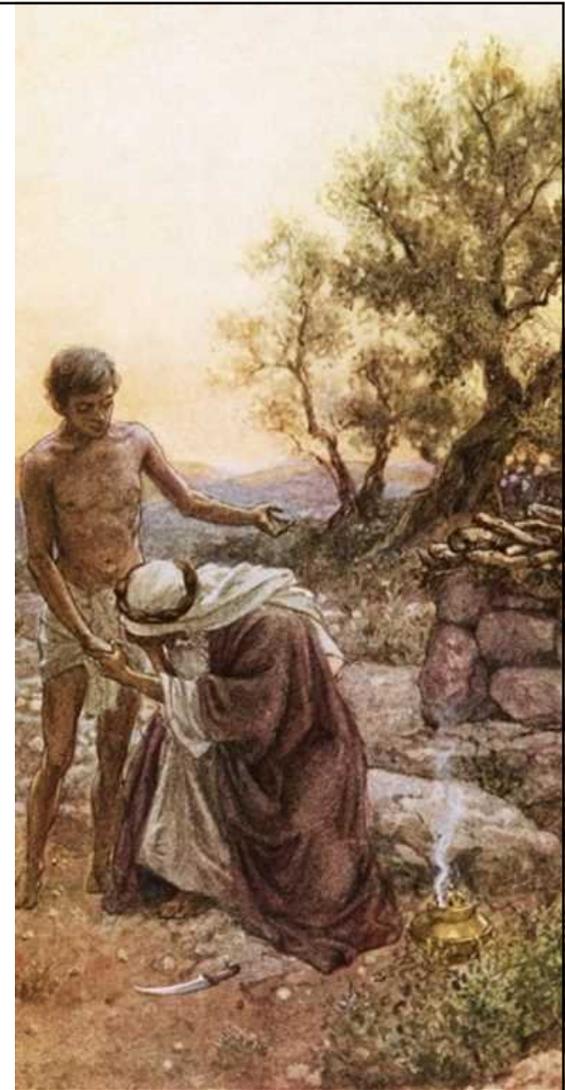
IV. アブラハム契約の確認 創世記22:15~19

【神の最後の語りかけ】 創22:15

それから【主】の使い*は、再び天からアブラハムを呼んで、仰せられた。

「これは【主】の御告げである。わたしは自分にかけて誓う。あなたが、このことをなし、あなたの子、あなたのひとり子を惜しまなかつたから、

- * 主の使い ...受肉前のキリストによる宣言。
アブラハムへの最後の語りかけ。
- * 神が誓える、誓いの約束の担保となるものは、
神ご自身しかない。
- アブラハム契約は、アブラハムの最高の信仰の行いによっても、明らかなものとされた!!



【アブラハム契約の最終確認】 創22:17～18

- ①わたしは確かにあなたを大いに祝福し、
- ②あなたの子孫を、空の星、海辺の砂のように数多く増し加えよう。
- ③そしてあなたの子孫は、その敵の門を勝ち取るであろう。
- ④あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。
あなたがわたしの声に聞き従ったからである。」

アブラハムの祝福

子孫の祝福

メシアの勝利

メシアが全民族を
救いに導く!!

最終確認されたのは、アブラハム契約の中心
メシアによる人類の罪の贖い、救い、全世界の回復

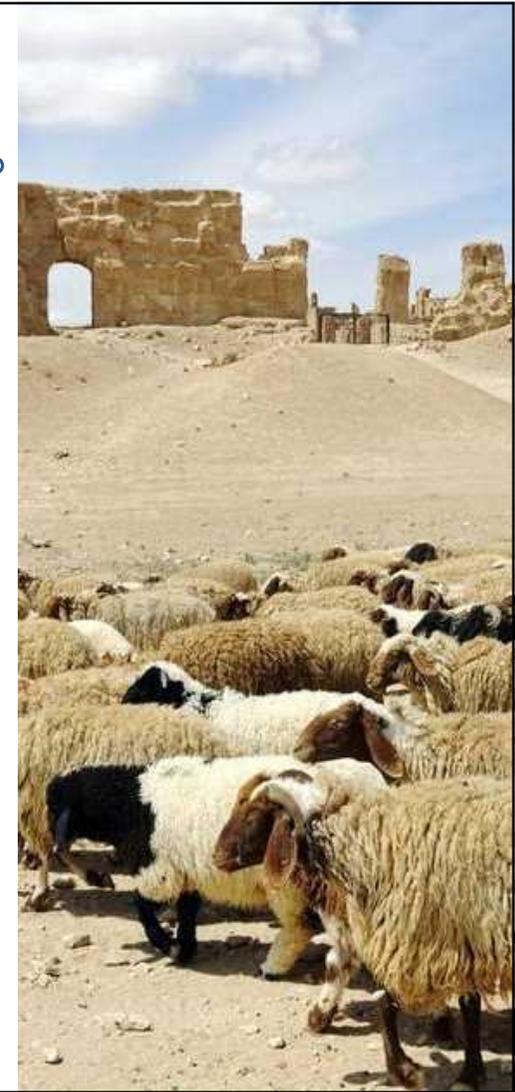
【ベエル・シェバにて】 創22:19

こうして、アブラハムは、若者たちのところに戻った*。
彼らは立って、いっしょにベエル・シェバに行った。
アブラハムはベエル・シェバに住みついた。

* 主が命じ、アブラハムが信じ、告げたとおり。

約束通りの帰還は、若者たちや一族の信仰をも
強めたことだろう。

* ベエル・シェバ ...七頭の、すなわち完全な数の
羊をささげた、誓いの井戸と呼ばれるその場所が、
イサク奉獻後、アブラハムの終のすみ家となった。





V. まとめと適用

**神が備えられた真実の犠牲
主イエスを信頼して歩もう**

【この箇所の適用の前に、覚えておくこと】

- ある人に、「和実君をささげられますか」と聞かれて、絶句した。
⇒これは本当に信仰深い発言だろうか？

- 「あなたは、愛する子をささげられますか？」
⇒即答できたら、あなたの信仰は、信仰の父アブラハムに等しい!!

- 神は、その人の信仰の成長に応じて試練を与えられるから、
無用な心配や思いわずらいを抱く必要はない。
信仰の父アブラハムの、55年の歩みの生涯のピークがこの出来事!!

- 子のために犠牲にはなれても、愛する子を犠牲はできない。それが親。
主は、アブラハム以外に、子をささげよと命じたことはない!!

【信仰の父・アブラハムの信仰を思い知ろう!!】

- イサクは、神の約束から25年後に与えられた。一時は完全にあきらめた。
- イサクほど待ち望まれた子はいない。
- そのイサクを、アブラハムはささげた。
その命こそ主に守られたが、思いと行為では、完全にささげた。
- 愛する子をささげた人は、他にはいない。
- 実際に、愛する人の命をささげきった人は、誰もいない。

唯一、真実に、ご自分の愛するひとり子をささげられた方は？

父なる神のみ

そして、ささげられたのは、神の子、**イエス・キリスト**のみ

【私たちに約束された恵みを想像し、思い知ろう!!】

- 前人未踏の信仰の領域へと到達した、信仰の父アブラハム
- しかし、私たちには、アブラハム以上の恵みが約束されている!!
- すべてのクリスチャンが、キリストの花嫁として迎えられた婚宴で、
あのアブラハムは、旧約聖書の聖徒たちと共に、招待客となっている!!
- 結婚式で、父親が花嫁をエスコートするように、
花婿キリストに、私たちをエスコートするのは、アブラハムかもしれない。
- どれほどの驚きと喜びと、途方もない祝福が、私たちを待っているのか。
- それはすべて、ただ、福音を信じて与えられた、一方的な恵み。
- はかりしれない驚くべき恵みを、味わわせてくださいと祈り求めるなら、
どんな試練にも打ち克つ喜びが湧き上がってくるだろう!!

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

あなたは、アブラハムへの約束(やくそく)を なしとげられました。

そのすべてが 実現(じつげん)するときに やってきます。

おどろくべき めぐみを、さらに、あじわわせてください。

よろこびをもって、ここから つかわしてください。

主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」